



2022年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月10日

上場会社名 大英産業株式会社 上場取引所 福
 コード番号 2974 URL <http://www.daieisangyo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大園 信
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部本部長 (氏名) 宇留嶋 栄治 TEL 093-613-5500
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年9月期第3四半期の連結業績（2021年10月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期第3四半期	18,570	△15.3	△485	—	△627	—	△417	—
2021年9月期第3四半期	21,925	61.9	604	—	492	—	316	—

(注) 包括利益 2022年9月期第3四半期 △417百万円 (—%) 2021年9月期第3四半期 316百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年9月期第3四半期	△127.02	—
2021年9月期第3四半期	96.77	94.71

(注) 2022年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失のため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年9月期第3四半期	36,962	6,357	17.2
2021年9月期	30,252	6,840	22.6

(参考) 自己資本 2022年9月期第3四半期 6,357百万円 2021年9月期 6,840百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年9月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2022年9月期	—	0.00	—	—	—
2022年9月期（予想）	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年9月期の連結業績予想（2021年10月1日～2022年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,458	11.8	1,071	17.2	882	12.6	569	10.9	173.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 ー社 (社名) ー

除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2022年9月期3Q	3,286,500株	2021年9月期	3,286,500株
2022年9月期3Q	ー株	2021年9月期	ー株
2022年9月期3Q	3,286,500株	2021年9月期3Q	3,275,241株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	11
販売及び契約の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症におけるワクチン接種推奨等により、感染者数が低水準で推移し、個人消費や企業活動を推進する動きがみられたものの、為替相場における円安による物価の高騰等により、先行き不透明な状況は続いております。

当社が属する不動産業におきましても、原油高や世界的な半導体不足、ウクライナ侵攻の長期化による物流制限に加え、為替相場による急激な円安による物価の高騰、更には中国のロックダウンによる資材の輸入量の減少や遅延など、各種建築資材の仕入価格の上昇から販売価格の上昇に繋がるなど、業界全体に大きな影響を与えている状況にあります。

そのような状況下、当社グループにおける当第3四半期連結累計期間は、主力であるマンション事業、住宅事業を中心に引渡しを行ってまいりました。当連結会計年度におきましては、マンション事業、住宅事業共に第4四半期(2022年7月～9月)に建物の完成、売上計上が集中していることから、前年同期と比較し、売上、利益ともに減少しております。しかしながら、契約及び受注済物件の数は計画通り推移しており、年間計画につきましては、現段階での変更は見込んでおりません。

この結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高18,570百万円(前年同期比15.3%減)、営業損失485百万円(前年同期は604百万円の利益)、経常損失627百万円(前年同期は492百万円の利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は417百万円(前年同期は316百万円の利益)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(マンション事業)

マンション事業におきましては、「サンパーク足立妙見通りレジデンス(福岡県北九州市、総戸数36戸)」、「サンパーク不知火レジデンス(福岡県大牟田市、総戸数42戸)」の完成、引渡しを行いました。

また、新規分譲開始物件として「サンパーク新山口駅南グラッセ(山口県山口市、総戸数56戸)」、「サンパーク春日の杜グラッセ(大分県大分市、総戸数39戸)」、「サンパーク紅梅グラッセ(福岡県北九州市、総戸数33戸)」、「サンパーク姪浜西グラッセ(福岡県福岡市、総戸数49戸)」の4棟の販売を開始し、販売は順調に推移しております。

さらに完成在庫であった、「サンパーク小郡駅前レジデンス(福岡県小郡市、総戸数36戸)」、「サンパーク桜町南ヴィータジオーネ(熊本県熊本市、総戸数44戸)」、「サンパーク大里原町レジデンス(福岡県北九州市、総戸数30戸)」、「サンパーク山口セントラルレジデンス(山口県山口市、総戸数22戸)」の完売・引渡しに加え、その他完成在庫完売にむけ、販売及び引渡しを行ってまいりました。

その結果、引渡戸数250戸、売上高は7,005百万円(前年同期比34.9%減)、セグメント損失は208百万円(前年同期は738百万円の利益)となりました。

(住宅事業)

住宅事業におきましては、コロナ禍におけるおうち時間の過ごし方の変化に伴い、「the park」、「Sakuhana」の商品展開を行い、順調に販売を伸ばしてまいりました。また、第3四半期におきまして、新たに「光あふれる、憩の家hidamari」を新たに販売開始いたしました。従来の生活動線や解放感に加え、「ロフト」や「無垢の床材」、「ウッドデッキ」など、家族それぞれの心地良さを考えた、住宅事業初の「平屋住宅」であります。このように、外部環境の変化、お客様のニーズの変化に合わせ、スピーディーに商品展開を行っていくよう努めております。

住宅事業セグメントにおける、不動産流通事業におきましても、中古物件の買取を行い、リフォームを施し販売する買取再販事業を、北九州都市圏、熊本都市圏、大分市にて行ってまいりました。

さらに、前年度より事業を開始しております、投資家向け商品戸建賃貸事業におきましては、投資ニーズの高まりから販売は順調に推移しており、第4四半期(2022年7月～9月)の引渡しに向け工事を進めております。

結果、引渡数は、分譲住宅事業が286戸、不動産流通事業が123戸、タウンハウス事業が6戸、土地分譲事業が95区画、戸建賃貸事業が6戸となり、売上高は11,517百万円(前年同期比3.6%増)、セグメント利益は463百万円(前年同期比12.4%減)となりました。

(その他事業)

その他事業におきましては、水道供給事業と不動産賃貸事業を行った結果、売上高は47百万円(前年同期比6.5%増)、セグメント利益は14百万円(前年同期比3.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は36,962百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,710百万円増加いたしました。これは、前連結会計年度末に比べ、現金及び預金が1,434百万円減少し6,268百万円に、販売用不動産が281百万円減少し6,508百万円に、仕掛販売用不動産が8,019百万円増加し21,452百万円になったことなどによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は30,605百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,192百万円増加いたしました。これは、前連結会計年度末に比べ、支払手形及び買掛金が579百万円減少し2,534百万円に、短期借入金が3,208百万円増加し10,292百万円に、1年内返済予定の長期借入金が2,032百万円増加し6,155百万円に、長期借入金が2,545百万円増加し9,420百万円になったことなどによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は6,357百万円となり、前連結会計年度末に比べ482百万円減少いたしました。これは、前連結会計年度末に比べ、親会社株主に帰属する四半期純損失417百万円を計上及び配当金の支払いにより65百万円減少し、利益剰余金が総額で483百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年11月11日に公表の「2022年9月期の連結業績予想」に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,702,898	6,268,031
受取手形及び売掛金	51,336	—
売掛金	—	39,658
販売用不動産	6,790,133	6,508,905
仕掛販売用不動産	13,432,660	21,452,626
未成工事支出金	13,615	10,341
原材料及び貯蔵品	12,129	8,816
その他	442,422	596,714
流動資産合計	28,445,197	34,885,095
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	669,979	721,674
土地	567,797	614,499
その他(純額)	76,473	87,501
有形固定資産合計	1,314,250	1,423,674
無形固定資産		
その他	59,211	54,313
無形固定資産合計	59,211	54,313
投資その他の資産		
繰延税金資産	316,043	494,345
その他	118,145	105,468
投資その他の資産合計	434,189	599,814
固定資産合計	1,807,651	2,077,802
資産合計	30,252,849	36,962,897
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,114,195	2,534,442
短期借入金	7,084,524	10,292,624
1年内返済予定の長期借入金	4,122,617	6,155,267
未払法人税等	124,146	5,757
賞与引当金	139,582	70,943
株主優待引当金	1,494	—
資産除去債務	45,470	20,910
その他	1,370,175	1,616,506
流動負債合計	16,002,206	20,696,453
固定負債		
長期借入金	6,875,002	9,420,835
役員退職慰労引当金	188,032	192,541
完成工事補償引当金	162,646	132,401
訴訟損失引当金	44,934	—
退職給付に係る負債	37,872	44,289
資産除去債務	81,514	99,405
その他	20,441	19,692
固定負債合計	7,410,444	9,909,166
負債合計	23,412,651	30,605,619

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	327,566	327,566
資本剰余金	229,566	229,566
利益剰余金	6,284,250	5,801,078
株主資本合計	6,841,384	6,358,212
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,186	△934
その他の包括利益累計額合計	△1,186	△934
純資産合計	6,840,198	6,357,278
負債純資産合計	30,252,849	36,962,897

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)
売上高	21,925,364	18,570,552
売上原価	17,866,160	15,438,191
売上総利益	4,059,203	3,132,361
販売費及び一般管理費	3,455,160	3,618,003
営業利益又は営業損失(△)	604,043	△485,641
営業外収益		
受取利息	27	13
受取配当金	613	757
違約金収入	6,390	27,751
受取賃貸料	20,888	36,847
受取手数料	64,607	45,182
その他	21,150	22,632
営業外収益合計	113,676	133,186
営業外費用		
支払利息	209,923	254,909
その他	15,378	19,815
営業外費用合計	225,301	274,725
経常利益又は経常損失(△)	492,418	△627,180
特別利益		
固定資産売却益	40	9,203
訴訟損失引当金戻入額	—	44,934
特別利益合計	40	54,137
特別損失		
固定資産除却損	0	10,834
特別損失合計	0	10,834
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	492,458	△583,878
法人税、住民税及び事業税	140,313	11,975
法人税等調整額	35,204	△178,411
法人税等合計	175,517	△166,436
四半期純利益又は四半期純損失(△)	316,941	△417,441
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	316,941	△417,441

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	316,941	△417,441
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△207	251
その他の包括利益合計	△207	251
四半期包括利益	316,733	△417,190
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	316,733	△417,190
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間において、株式会社大英エステート、株式会社大英不動産販売を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。また、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従来の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約について、新たな会計方針を遡及適用していません。

この結果、当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表への影響、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。また、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。なお、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「売掛金」に含めて表示することといたしました。前連結会計年度の「受取手形及び売掛金」については、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従っており、新たな表示方法への組替を行っていません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	マンション事業	住宅事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,762,284	11,118,591	21,880,875	44,488	21,925,364
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,762,284	11,118,591	21,880,875	44,488	21,925,364
セグメント利益	738,634	529,464	1,268,098	14,389	1,282,487

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水道供給事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,268,098
「その他」の区分の利益	14,389
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△678,444
四半期連結損益計算書の営業利益	604,043

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2021年10月1日 至 2022年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計
	マンション事業	住宅事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	7,005,821	11,517,340	18,523,161	34,536	18,557,697
その他の収益(注) 2	—	—	—	12,855	12,855
外部顧客への売上高	7,005,821	11,517,340	18,523,161	47,391	18,570,552
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,005,821	11,517,340	18,523,161	47,391	18,570,552
セグメント利益又は損失(△)	△208,646	463,721	255,074	14,872	269,947

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水道供給事業等を含んでおりません。

2. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸料収入であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	255,074
「その他」の区分の利益	14,872
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△755,589
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△485,641

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 補足情報

販売及び契約の状況

当第3四半期連結累計期間の契約実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	
	件数	金額 (千円)
マンション事業	454	12,918,599
住宅事業	591	12,866,281
合計	1,045	25,784,880

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	
	件数	金額 (千円)
マンション事業	250	7,005,821
住宅事業	516	11,517,340
その他	—	47,391
合計	766	18,570,552